

八潮南高校生が編集しました



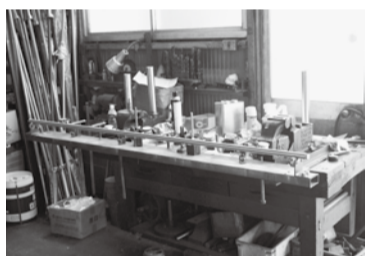
発見、 やしおの職人技

八潮市は、工業が盛んでたくさんの製品を製造しています。その中で、高い精度が要求される実験器具を製造する工場や、オリンピックで使用されるバーベルを日本で唯一製造している工場があることを知り興味を持ち、取材しました。

編集 八潮南高校
〒340-0814 南川崎519-1 ☎995-5700

オリンピック 五輪を支える！ 八潮から世界へ！

笠巻鉄工所



笠巻鉄工所は「日本で唯一」また「世界で数少ない」重量挙げ競技用のバーベルの加工技術をもっています。笠巻鉄工所で製造されたバーベルは、オリンピックなどの世界的な大会で使われています。

年間約1,000本を手作業で作っているそうです。1本1本ハンマーで叩き、まっすぐにする作業は、繊細さと力強さが必要となります。また、バーベルが「折れない・曲がらない」よう特殊な材質の鉄を使っています。滑り止めの加工も、日本で笠巻鉄工所しかできない特殊な技術です。

Q&A

Q,バーベルの他に何を作っていますか？
A,ダンベルやバスケットボールゴールの部品を作っています。

Q,ダンベルとバーベルの作り方の違いはありますか？

A,バーベルの技術を応用してダンベルを作っているの、高品質なものとして世界中から人気があります。



常に上を目指す！ 長年の技術の結晶！

Q&A

八潮理化硝子製作所

Q,主にどのような物を作っていますか？
A,基本的に学校などで使うビーカーを作ります。

Q,1日、何個製造できますか？
A,物にもよりますが、1日50個～100個です。

Q,この仕事を始めて何年になりますか？

A,作り始めて50年になります。



実際にさまざまな作業を見せていただきました。専用の機械でフラスコを複雑な形に作り替えたり、ガラス管を曲げたりという作業です。お客様のニーズに応じてさまざまな形を作り出されているということでした。同じ素材のガラス同士を見極めてくっけたり、2,000度を超えるバーナーで熱したりと、熟練の技術に



裏打ちされた「ものづくり」を間近で見ることができました。

さらに、いろいろな質問をさせていただく中で、繊細な鶴のガラス細工などの工芸品もを見せていただき、とてもきれいで感動しました。

八潮南 高校 編集後記

私たちは今回、八潮で働く2人の職人さんに取材をすることができました。2人ともより良い製品を作ろうと常に向上心を持って、「今日より明日、明日より明後日」との気持ちでお仕事をされていることがよく分かりました。企画を立て、実際に取材し、記事を書き上げる作業は難しいものですが、職人さんの高い技術とところざしに触れることができ、とても貴重な経験となりました。

八潮に住んでいながら知らなかったことも多く、この機会に少しでも多くの八潮市の高校生たちに、この高い技術



写真右から 渡邊東亜、福田茜、清水芽衣、鏡寛美



笠巻鉄工所の長谷川健吾さん。製造されたバーベルは実業団や大学など多くのスポーツ選手のトレーニングにも使用されています。



八潮理化硝子製作所の石井眞悟さん。製造されたガラス器具は、学校や研究機関で利用されています。